

日本学術会議 公開シンポジウム 「稲作と植物保護を展望する」

日時：平成22年11月8日（月）13:00～17:30 参加費無料（要申込）

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

■主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、
日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本農薬学会、
植物化学調節学会、日本雑草学会

13:00-13:10 開会挨拶
上野民夫（日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会委員長、京都大学名誉教授）

シンポジウム話題提供

13:10-13:40 イネ害虫の変遷 —ニカメイチュウを中心に—
田付貞洋（日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授）

13:40-14:10 イネいもち病におけるboom-and-bust cycleとマルチライン
土佐幸雄（神戸大学大学院農学研究科・教授）

14:10-14:40 水田雑草防除技術と優占雑草の変遷
佐合隆一（日本学術会議特任連携会員、茨城大学農学部・教授）
竹下孝史（日本植物調節剤研究協会専務理事）

14:40-15:10 イネ害虫の化学的制御における選択性と抵抗性発達の分子基盤
松田一彦（近畿大学農学部・教授）

15:10-15:40 誘導抵抗性による病害防除の現状と可能性
仲下英雄（理化学研究所・専任研究員）

特別講演

15:40-16:20 植物保護とGMO
鎌田 博（日本学術会議連携会員、筑波大学大学院生命環境科学研究科・教授）

16:20-16:30 休憩

16:30-17:20 まとめと総合討論
上路雅子（日本学術会議連携会員、日本植物防疫協会技術顧問）

17:20-17:30 閉会挨拶
白石 友紀（日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会副委員長、
岡山大学大学院自然科学研究科・教授）

参加申込先：東京農工大学農学院 寺岡 徹

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

TEL・FAX：042-367-5692、E-Mail：teraoka@cc.tuat.ac.jp